



入試に関する Q & A



I 試験について

Q 1 : 特技奨学生と一般生など受験種別に応じて問題は異なりますか？

A : いいえ。皆さん同じ問題を解いていただきます。



Q 2 : 今回の入試で何か変更点がありますか？

A : 特に変更というほどではありませんが、国語の入試で例年と少し異なる形で、問題に「熟語」と「ことわざ・慣用句」が出題されます。

熟語は、二語熟語から四字熟語の基礎的なもの、ことわざ・慣用句は日常的によく使うものを勉強しておいて下さい。

Q 3 : 他の高校も受験したいと思っています。どの種別で受験するといいですか？

A : 本校の受験種別は、「一般生」、「専願生」、「特技奨学生」の三種類です。

「専願生」、「特技奨学生」は合格した場合、必ず入学して頂くことになっていますので、他校も受験されるのであれば「一般生」での受験となります。

「一般生」で受験すると、調査書と入試の成績により「学力奨学生」での合格になる場合があります。「学力奨学生」で合格すると成績により奨学金が支給されます。

(詳しくは生徒募集要項をご覧ください)

Q 4 : 看護科を希望しています。病院奨学生について教えてください。

A : 病院奨学生制度は看護学科の生徒を対象とした奨学金制度です。

大学や大学病院から奨学金を受け、卒業後、奨学金を受けた年数に応じて決められた期間その病院で勤務すれば、奨学金の返済が免除されるものです。

ただし、勤務するためには看護師の資格を取得する必要がありますので、国家試験の合格は絶対条件となります。入学後に希望者を募って専攻します。

II 看護科について

Q 1 : 高校と専攻科の違いや部活動について教えてください。

A : 高校での学習を終えた後、ほとんどの生徒が専攻科に進級します。

高校は他学科と同じ校舎になります。専攻科も同じ敷地内ですが別棟です。

部活動は高校3年間のみになりますが、両立して頑張っている先輩はたくさんいます。専攻科は国家試験や進路決定に向け勉強に専念します。

Q 2 : 実習施設はどのような場所にありますか？

A : 徒歩やJR、バイク等で学校や自宅から通える距離にある病院です。

現在、玉名・和水・山鹿・植木の病院及び実習を行っています。卒業生の先輩看護師さんがいらっしゃるので心強いです。

Q3：将来、看護師以外にどのような進路がありますか？

A：看護系の大学に進学したり、進学や保健師や助産師養成学校に進学したりしています。

Ⅲ ビジネス科について

Q1：カリキュラムはどうなっていますか？どんなことを学びますか？

A：素描、構成、情報デザイン、美術概論、ビジュアルデザイン、映像表現、表現メディアの編集とデザイン・・・などを普通教科と合わせて勉強します。学年進行で上級生ほど専門教科の時間数が増えるようになっています。

Q2：2年生からコース変更してもついていけますか？

A：大丈夫。心配ありません。1年生の科目は両コースに共通な科目がほとんどです。ビジネス科の美術はデザインを意識した内容になっているので転コースしても役立つ内容を1年次には学習しています。

Q3：卒業してからはどんな道に進めますか？

A：高校で学習した内容をもっと学びたい人は、大学や専門学校への進学を薦めます。授業も大学や専門学校から講師の方をお呼びするので、先生がおられる上級学校との連携もできています。現在指定校での推薦の枠の拡大に努めています。ビジネス科で学んだ商業の知識も就職に活かし、職場で幅広く活躍する人材に成長します。HP作成やチラシやパンフレットのレイアウトなど、学んだセンスを仕事に活かせるといいですね。

Q4：漫画家にはなれますか？

A：描くのが好きな生徒さんもたくさんいることでしょう。高校で学んだだけですぐ何かができるわけではありませんが、将来的には専門的な道に進めるように経験を積んでもらいたいと思っています。年に数回、キャリアのある著名な方の授業や講演も計画しています。

Q5：設備は整っていますか？

A：コンピュータ室は、今までのWindowsに加えてマッキントッシュパソコンが導入されます。アニメーション、画像編集ソフトなどの充実を心がけています。

